



兵庫県学校施設における アスベスト実態についてのアンケート調査結果

2021年12月2日 マスコミ懇談会
兵庫県保険医協会 環境・公害対策部

アンケート調査の動機



- * 建造物の耐震構造の見直し・強化対策工事や解体に伴って、アスベストの存在をクローズアップせざるを得ない状況になってきている。
- * 学校施設にもアスベストが存在しており、一時問題になった時期があり、その時点で何らかの対策が取られたはずではあるが、その後の対応について不透明な状況にあることが懸念される事態が起きている。
 - 旧夙川短大校舎解体におけるアスベスト飛散事件より
- * 行政のアスベストに関する問題意識の低さを体験
 - 学校施設のアスベストの実態が把握されていないのではないかと？
 - アスベストの危険性についての認識不足から指導不足が起きているのではないかと？

アンケート調査の目的



- * 教育施設でのアスベスト使用状況、対応状況について経年的変化も含めて調査し、過去に行われた調査と経年的対処の把握、信頼性の検討、今後への活用度の把握、などを行うことを目的とした

アンケートの方法



* 実施方法

- 書面送付、記入によるアンケート調査方式
- 教育委員会を通じて、所定のアンケート用紙を送付、回収した

* 対象

- 兵庫県内44の全教育委員会の私学を除く小学校、中学校、高校、幼稚園、など

アンケートの内容



* 一般事項

- 説明会、健康被害の意識度

* アスベスト（レベル1・2）に関して

- 各学校施設におけるアスベストの存在の有無、措置の有無
- 信頼性について： 調査年、調査者、調査方法、記録の保管状況

アンケート調査回収結果



* 兵庫県内44全自治体の小学校、中学校、高校、幼稚園 など

※私学を除く

* 回答のあった学校施設数： 1431施設

➤ 高校 146

➤ 中学校 332

➤ 小学校 717

➤ 幼稚園など 190

➤ その他（特別支援学校等） 46

※「幼稚園など」は対象外として無回答の自治体があった

* 全教育委員会から回答が得られたが、回収は容易ではなかった

➤ 数度にわたる問い合わせに1年間を要した

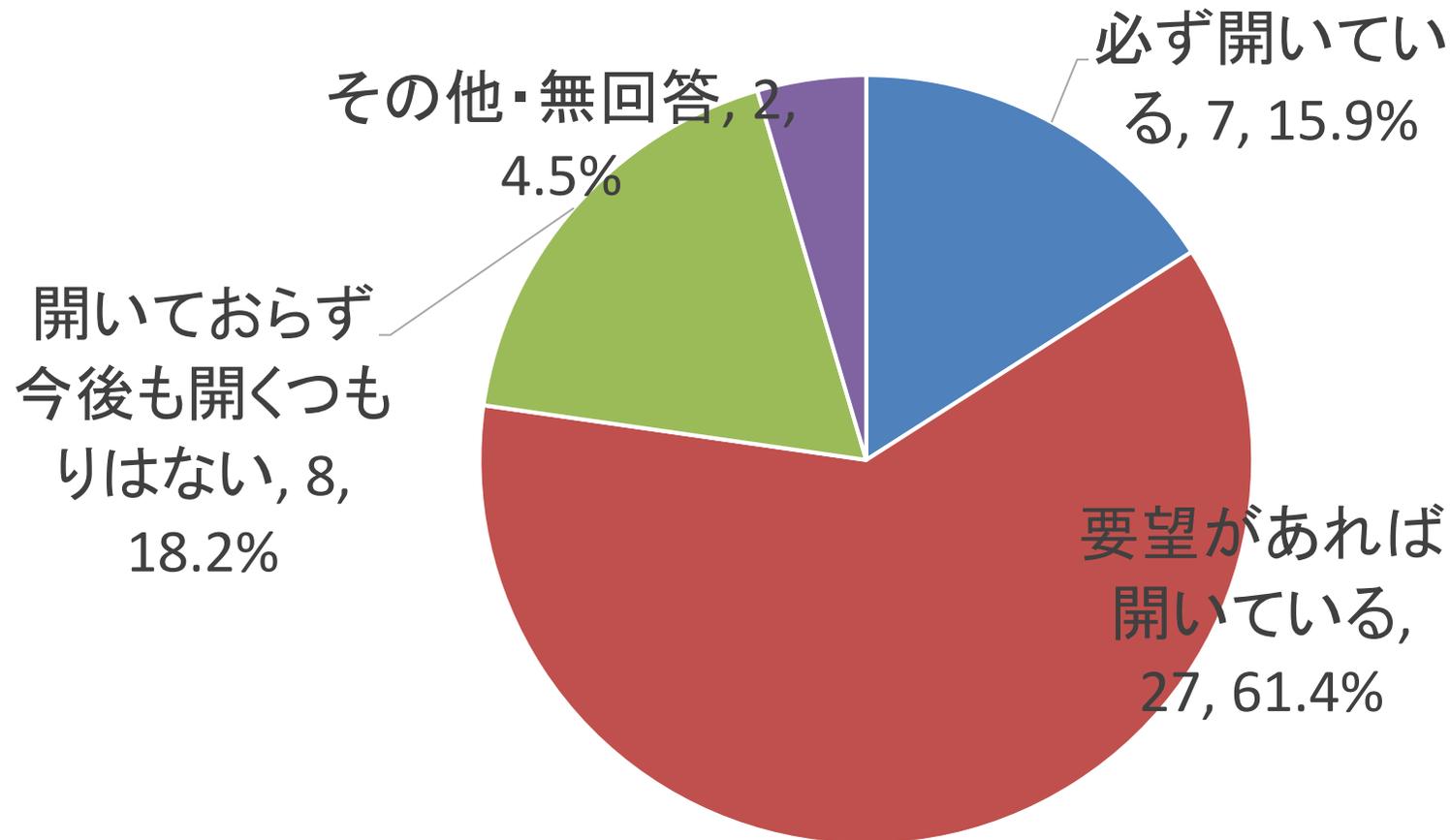
➤ 情報公開請求にて確認せざるを得なかった教育委員会があった

回答「一般事項」 ①住民への説明会について



* 周辺住民に対して

教育委員会数 n=44

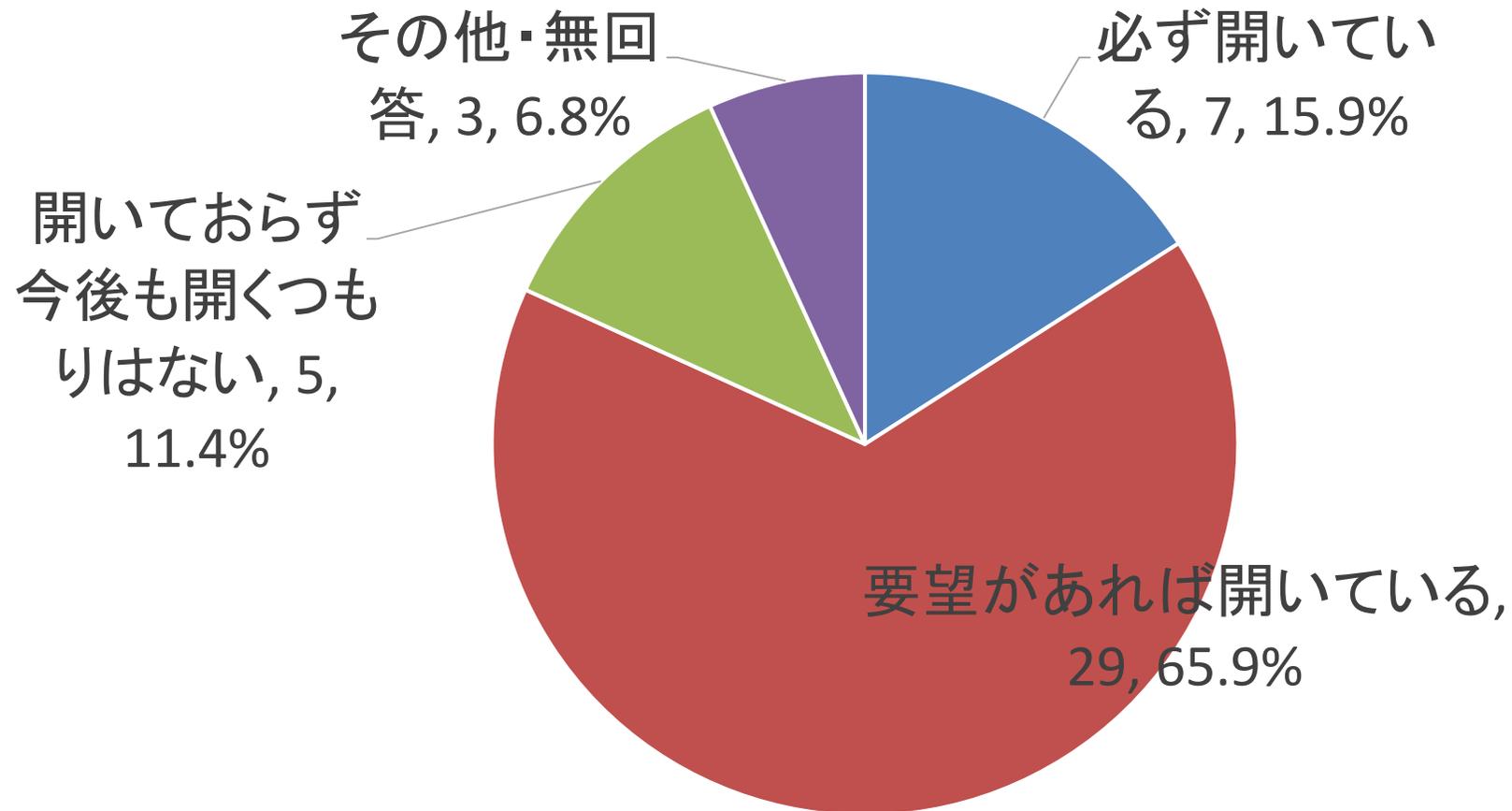


回答「一般事項」 ①住民への説明会について



* 保護者や学校関係者に対して

教育委員会数 n=44



回答「一般事項」

②学校施設がアスベスト曝露の原因となる可能性があることについて



教育委員会数 n=44

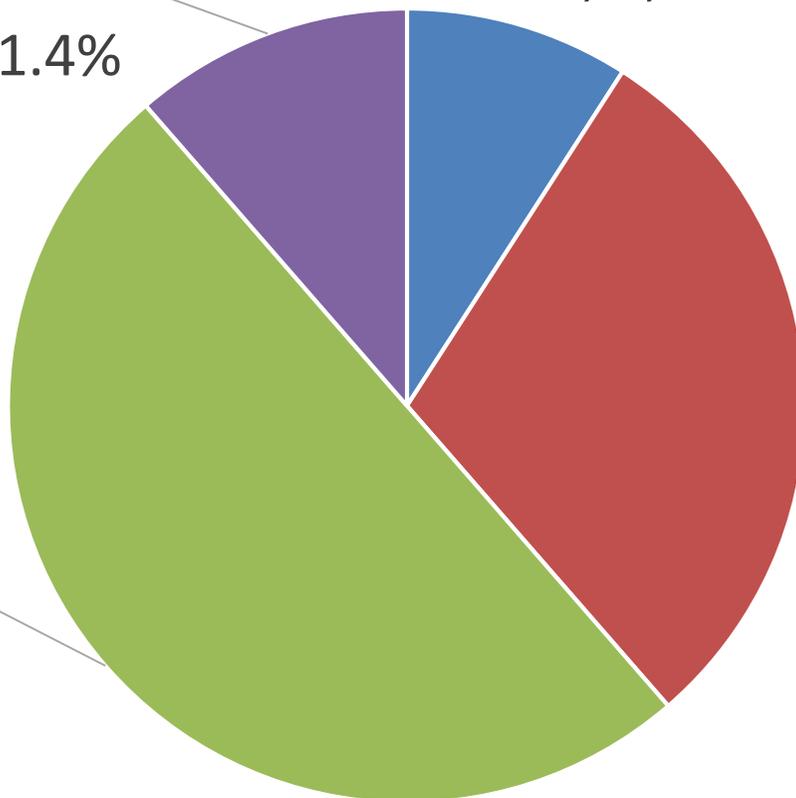
*原因となる可能性が

その他・無回答, 5, 11.4%

高い, 4, 9.1%

低い, 13, 29.5%

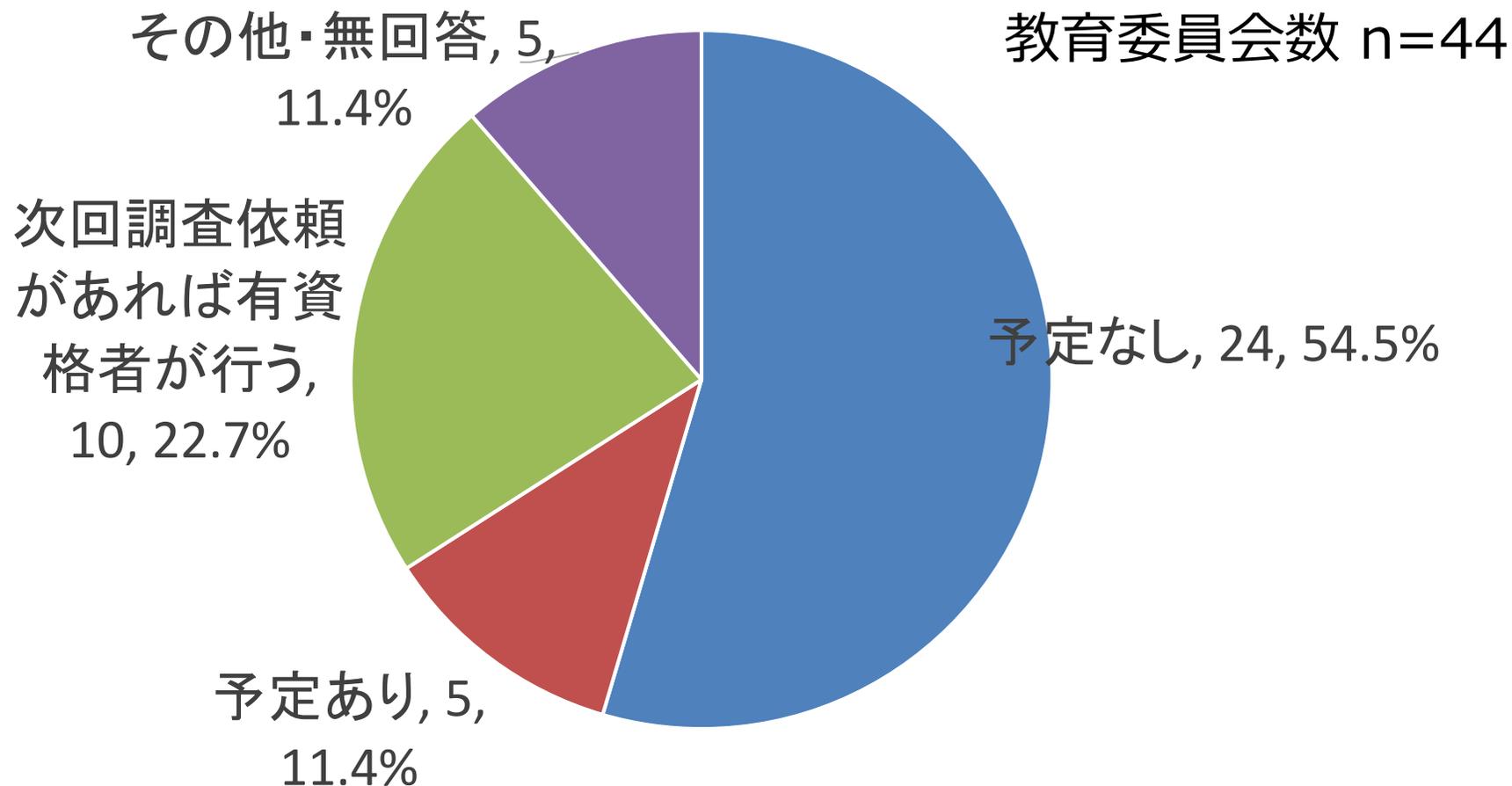
わからない, 22, 50.0%



回答「一般事項」説明会



* 昨年6月の大気汚染防止法の改正では、有資格者によるアスベスト調査が義務付けられました。
今後、有資格者による学校アスベストの再調査の予定はありますか

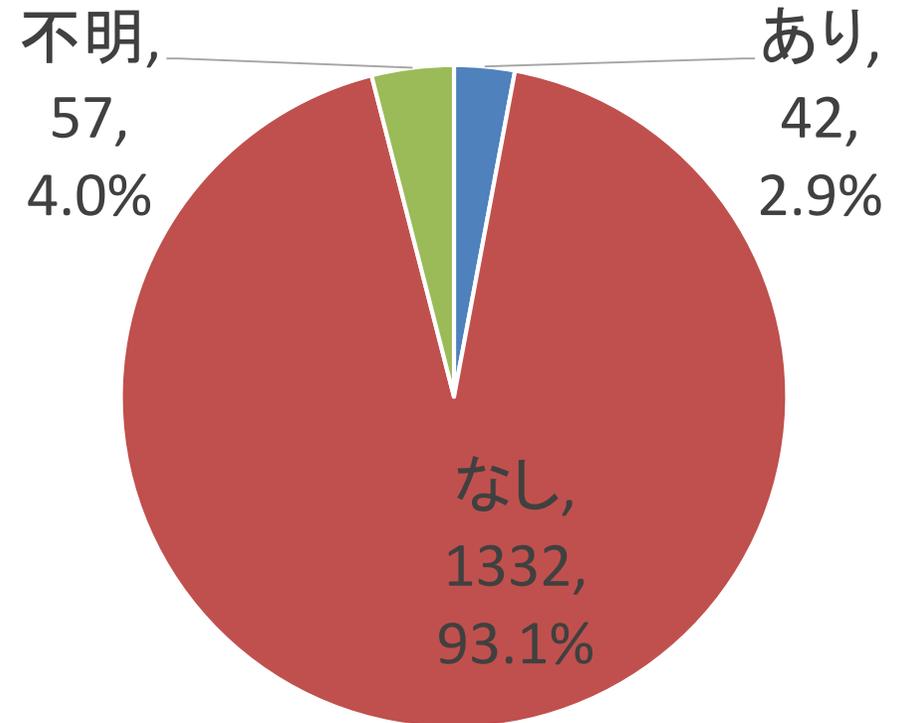
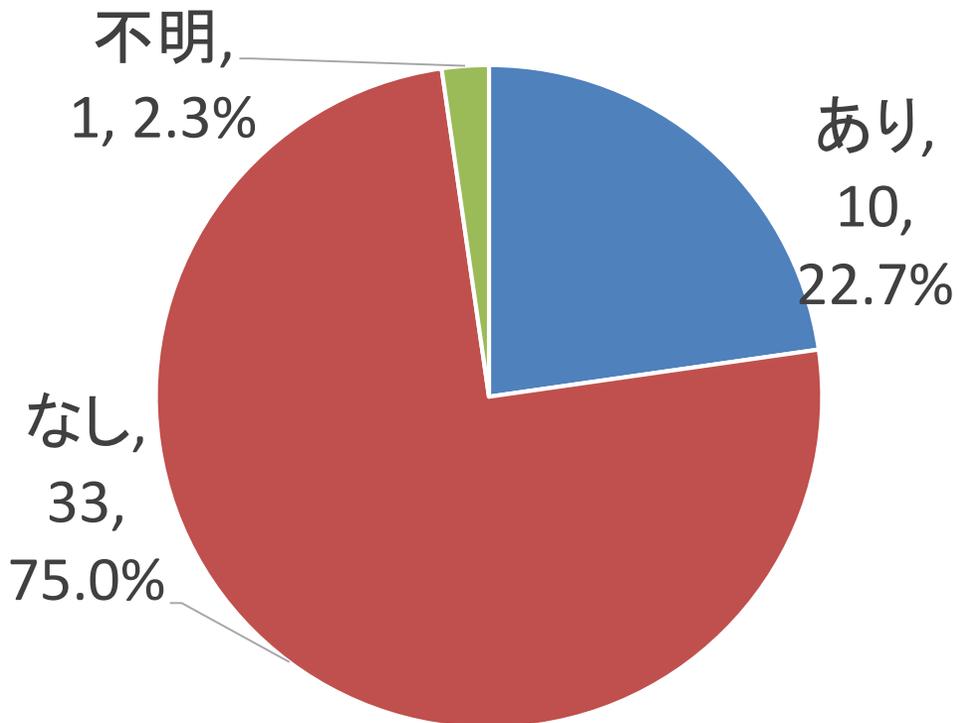


回答「アスベストレベル1の存在」



・教育委員会数 n=44

・施設数 n=1431



回答「アスベストレベル1の存在」から



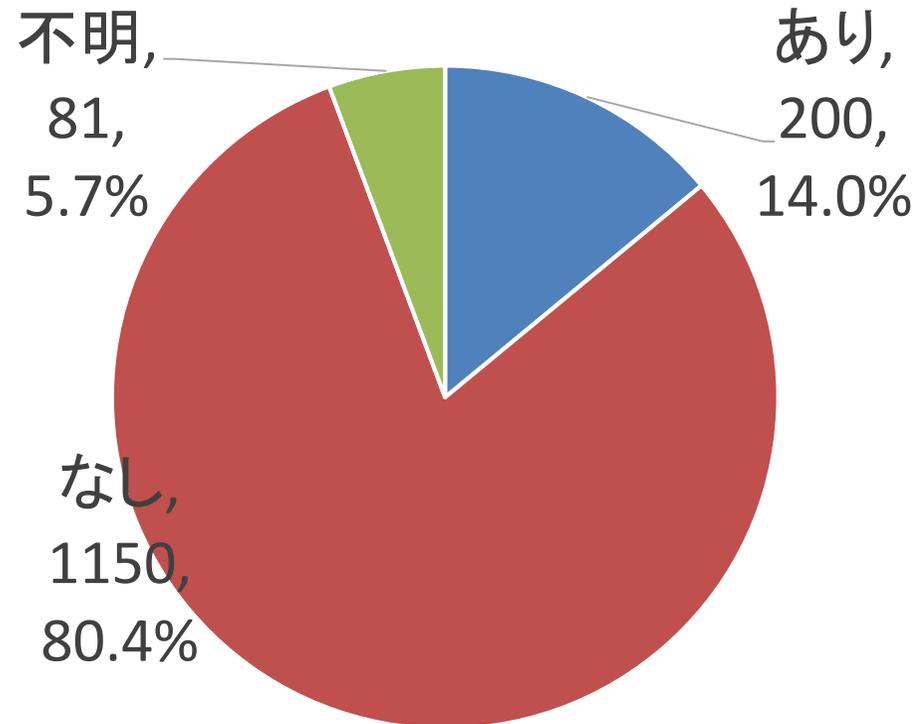
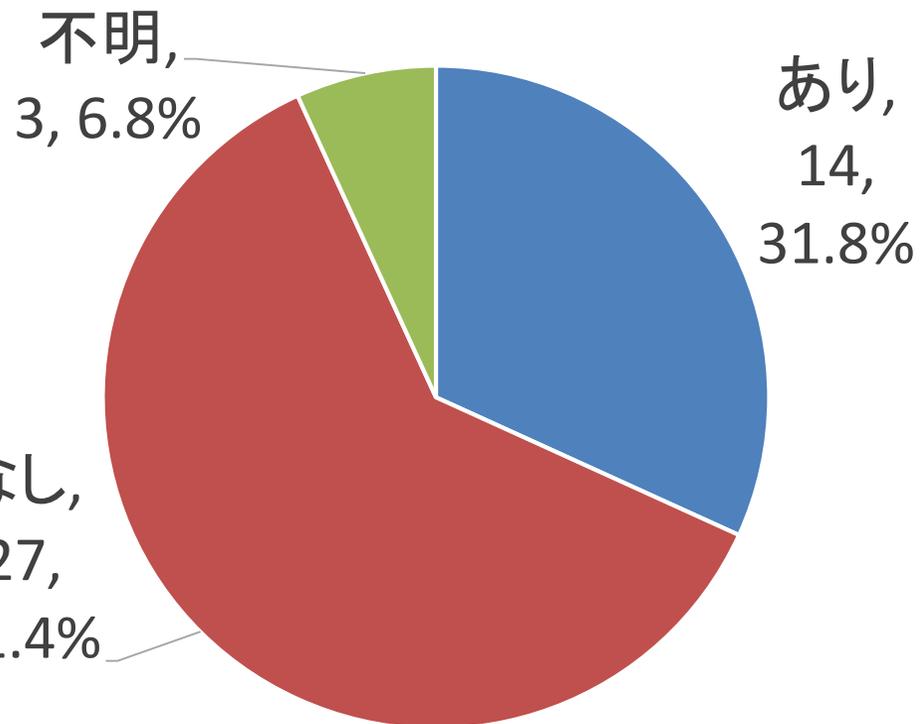
- レベル1（吹き付けアスベスト）は、10教育委員会、42施設において存在する。そのほとんどは措置済みである。
- 具体的な箇所としては、体育館の関連施設、技術室や教室、廊下や階段の天井、機械室などである。
- 対策として、積極的に除去したものと措置済みのまま残存しているものがあり、教育委員会によって対策に差がある。

回答「アスベストレベル2の存在」



・教育委員会数 n=44

・施設数 n=1431



回答「アスベストレベル2の存在」から



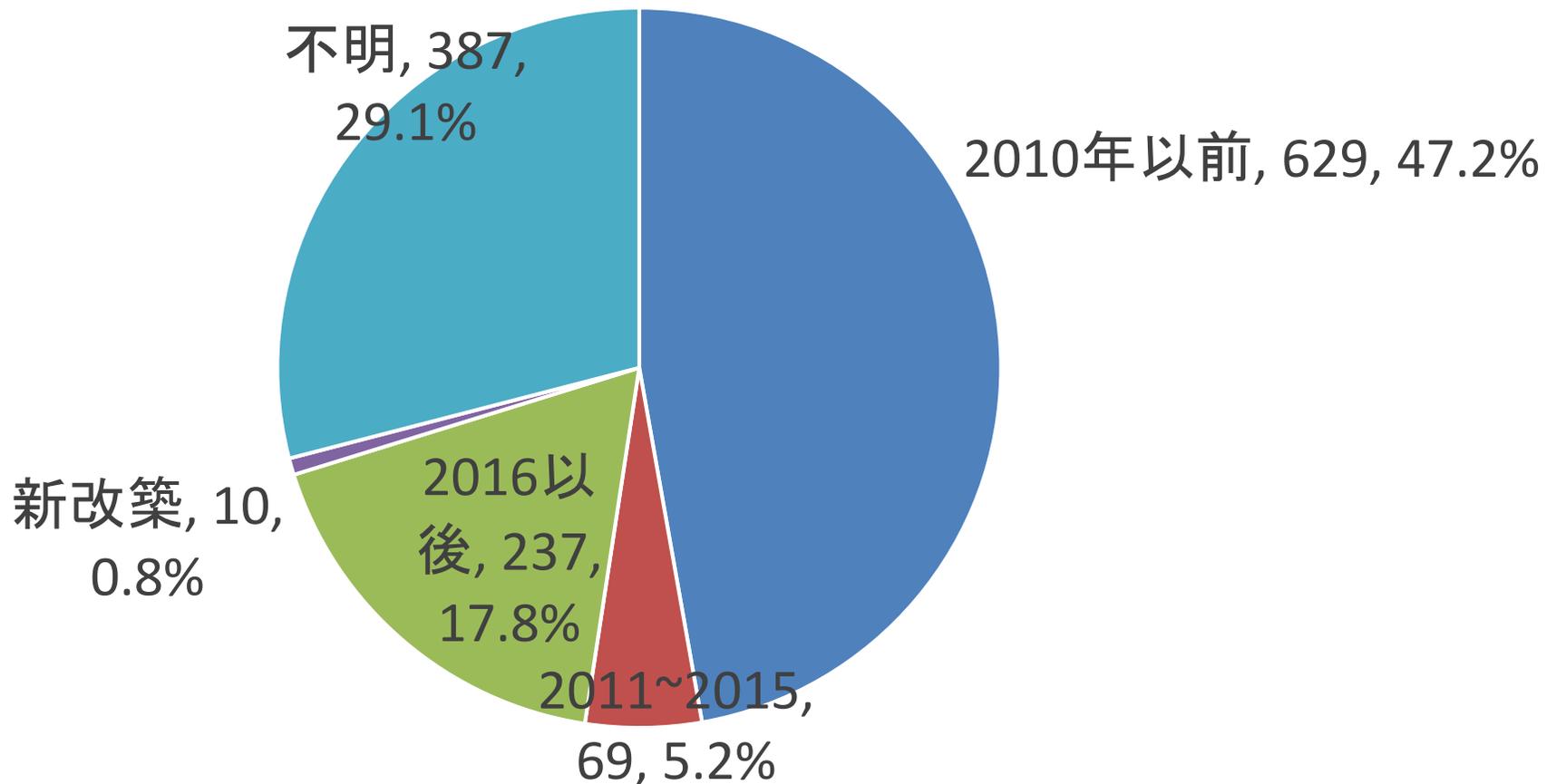
- ・ 14教育委員会、200施設においてレベル2が存在した
- ・ 回答内容には教育委員会によって相違が認められる
 - 「調査時期不明」としながら全施設「なし」と回答している教育委員会がある
 - 専門家による調査を行って1施設あたり7~8か所「あり」と回答している教育委員会もある

⇒実際は、レベル2のアスベストが回答数以上に存在している可能性が高い

回答「アスベストレベル1『なし』の信頼性について」



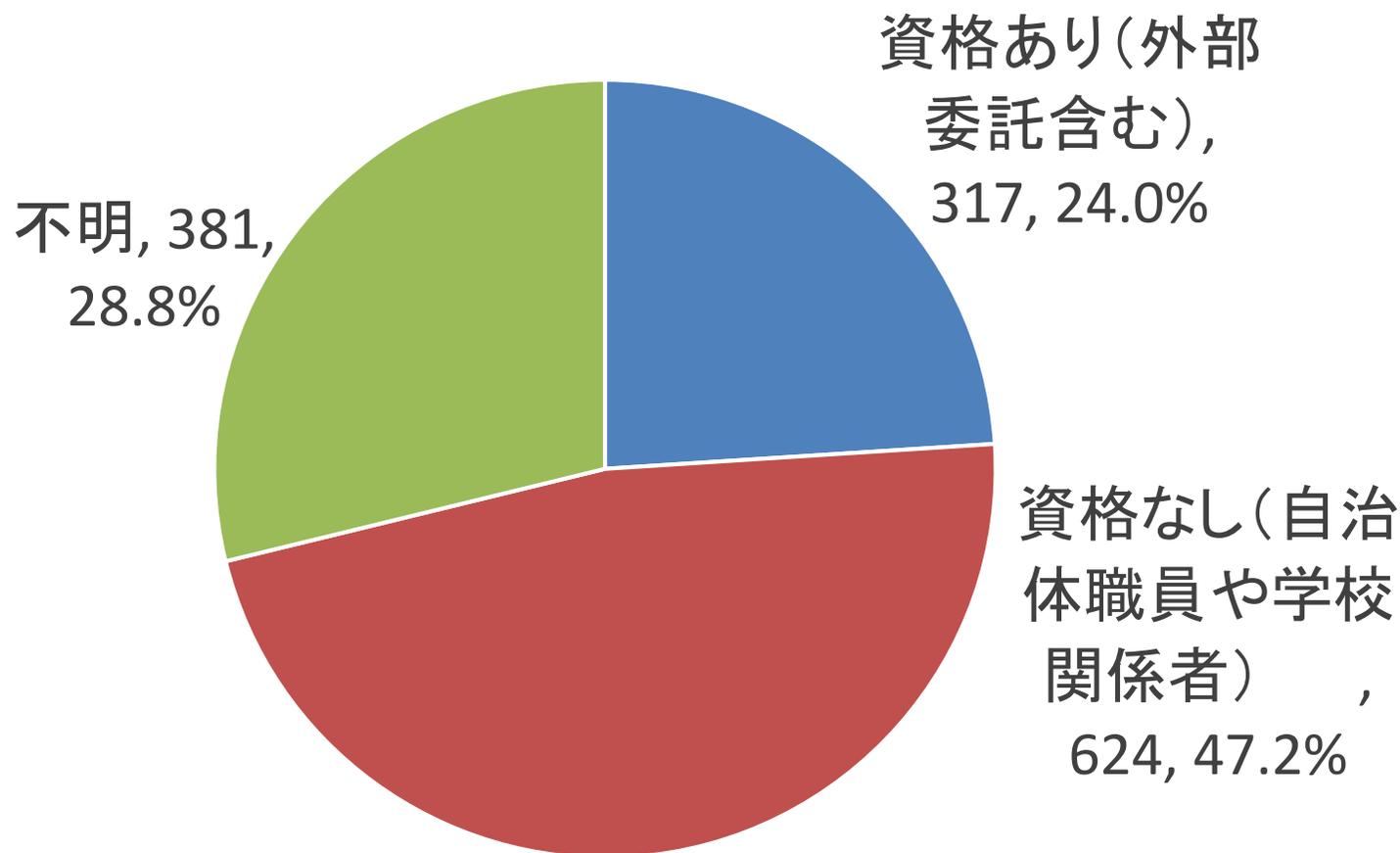
- ・ 調査年（アスベストレベル1「なし」1332施設）



回答「アスベストレベル1『なし』の信頼性について」



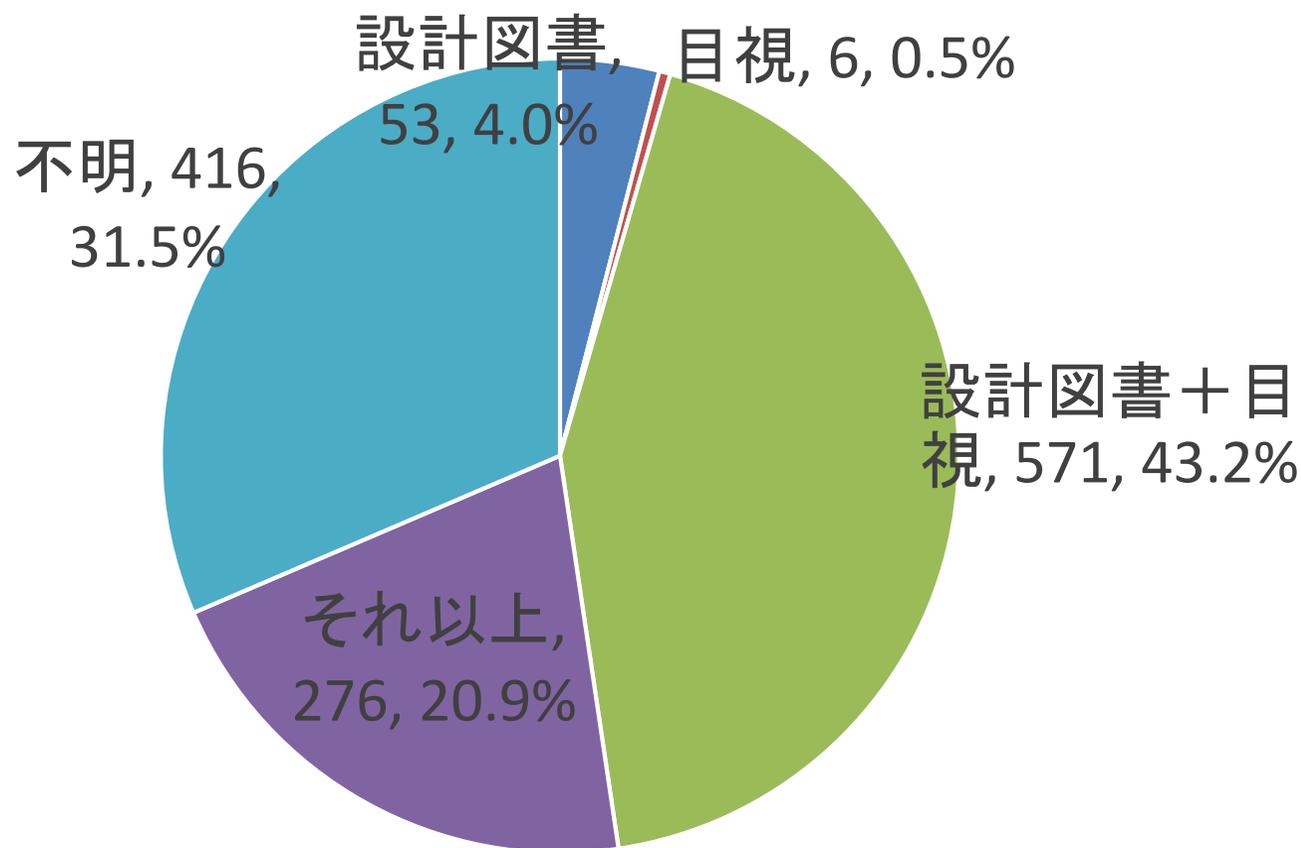
- ・ 調査者（アスベストレベル1「なし」で新築除く1322施設）



回答「アスベストレベル1『なし』の信頼性について」



- ・ 調査方法（アスベストレベル1「なし」で新築除く1322施設）



結語



- * 教育委員会における教育施設のアスベスト実態把握の程度にはかなりのばらつきがあり、極めて低いと言わざるを得ない教育委員会も存在した
- * 教育委員会のアスベストへのリスク管理の程度を反映してか、教育施設現場におけるアスベスト管理に関する認識にはかなりのばらつきが認められた
- * 教育施設におけるアスベストの状況について、データベース化や安全管理記録は皆無に等しかった
- * 教育施設におけるアスベストの使用状況について、専門家による早急な調査が望まれる

問題点



- 学校施設のアスベスト安全管理についての責任感の希薄さ
- アスベスト使用状況についての正確な調査が必要
- 文科省によるアスベスト調査の不備
- ノンアスベスト社会に向けての計画

私たちの提言



- ・各教育委員会内で安全管理ができる仕組みを構築
⇒自治体職員を対象にした「調査者講習」や「安全維持管理講習」を行い資格を与える
- ・全国一斉にアスベスト調査を実施し、国費負担とする
- ・「長寿化構想（総務省）」において、アスベスト除去を対象に加える
- ・文科省においては、アスベスト除去に関して工事期間や飛散防止策などの安全対策についてガイドラインを示すこと



ご清聴ありがとうございました